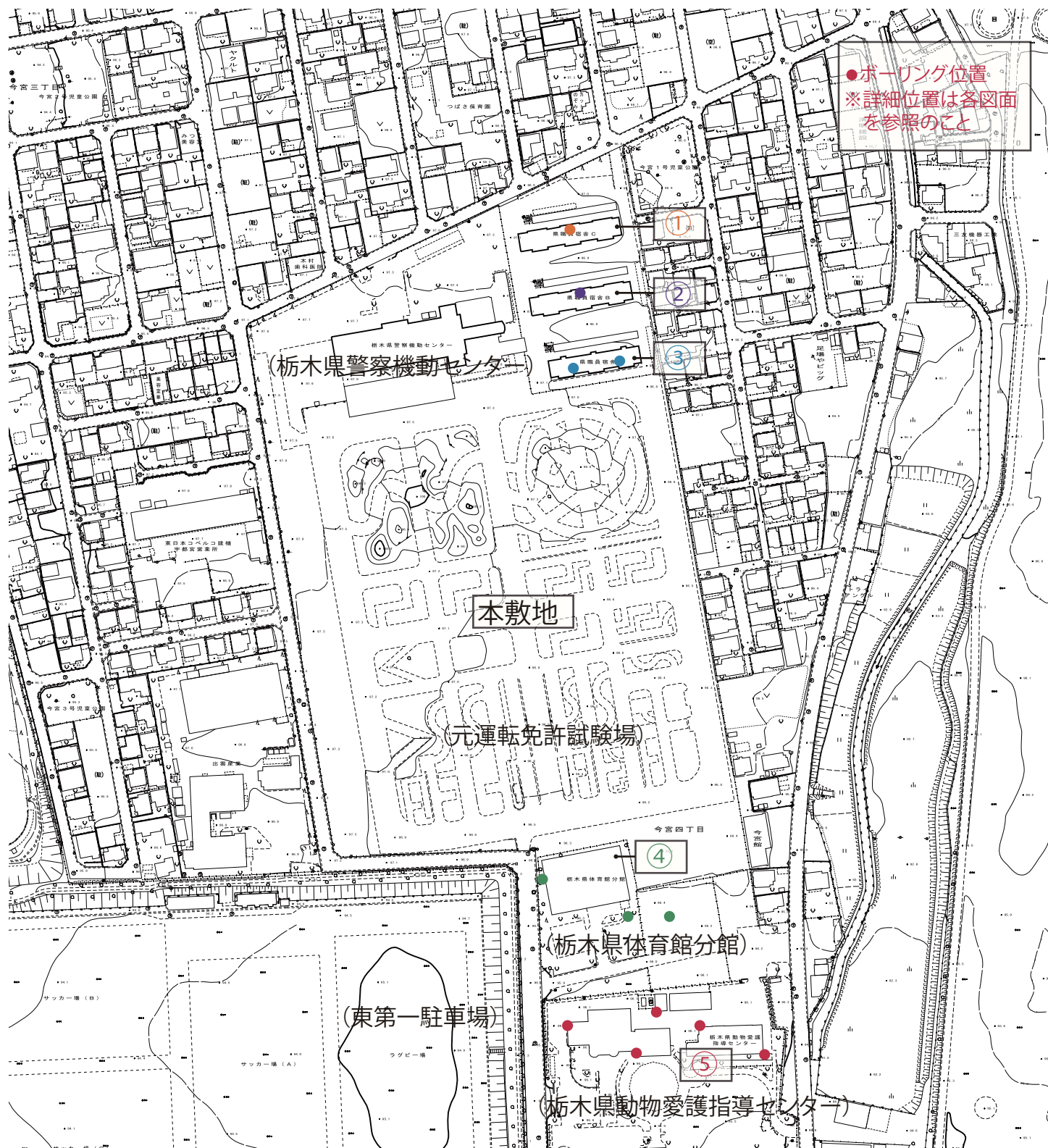
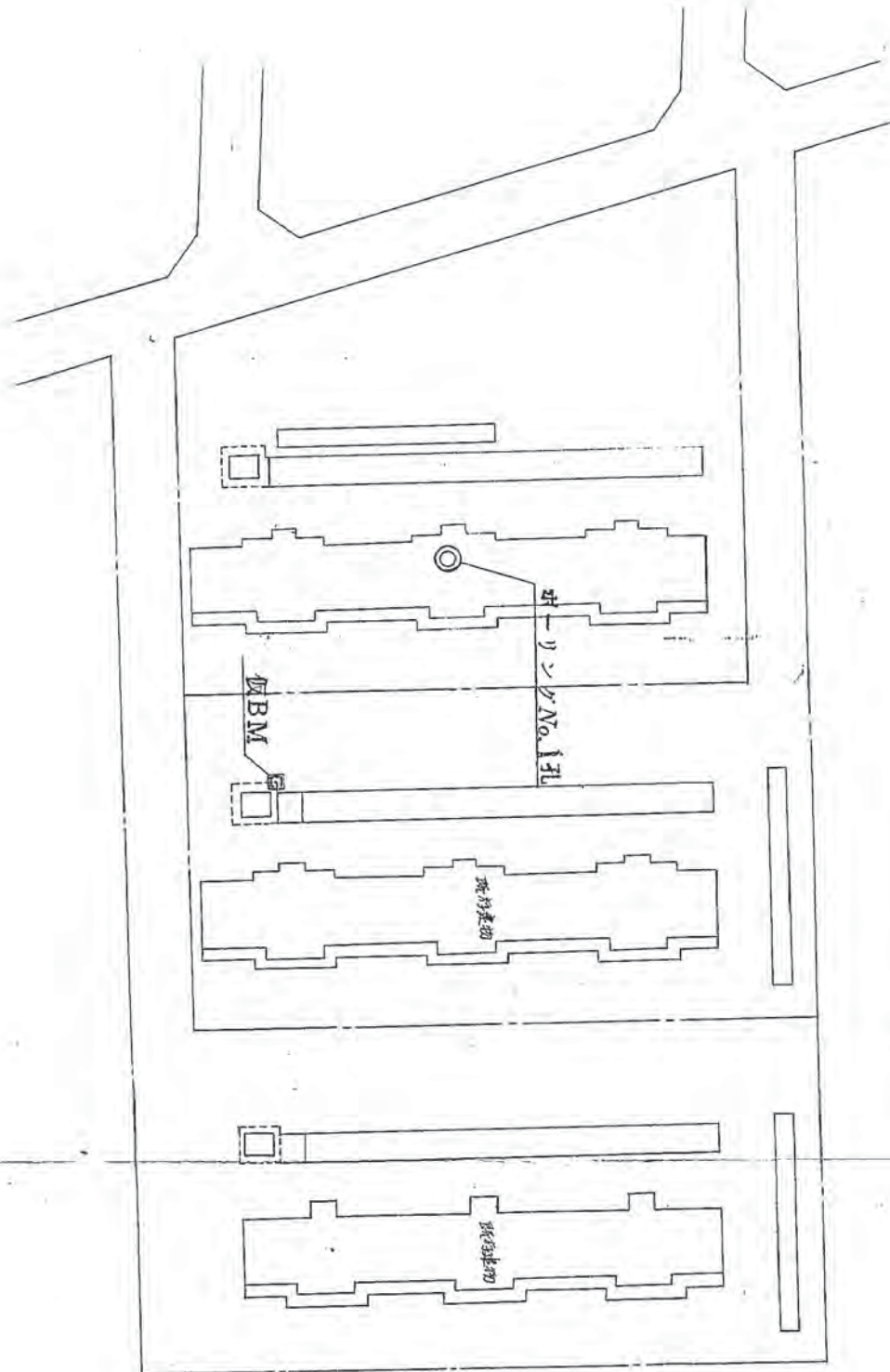


別紙4 本敷地周辺の土質調査結果  
(ボーリング位置図)



平面位置図

S=1:500

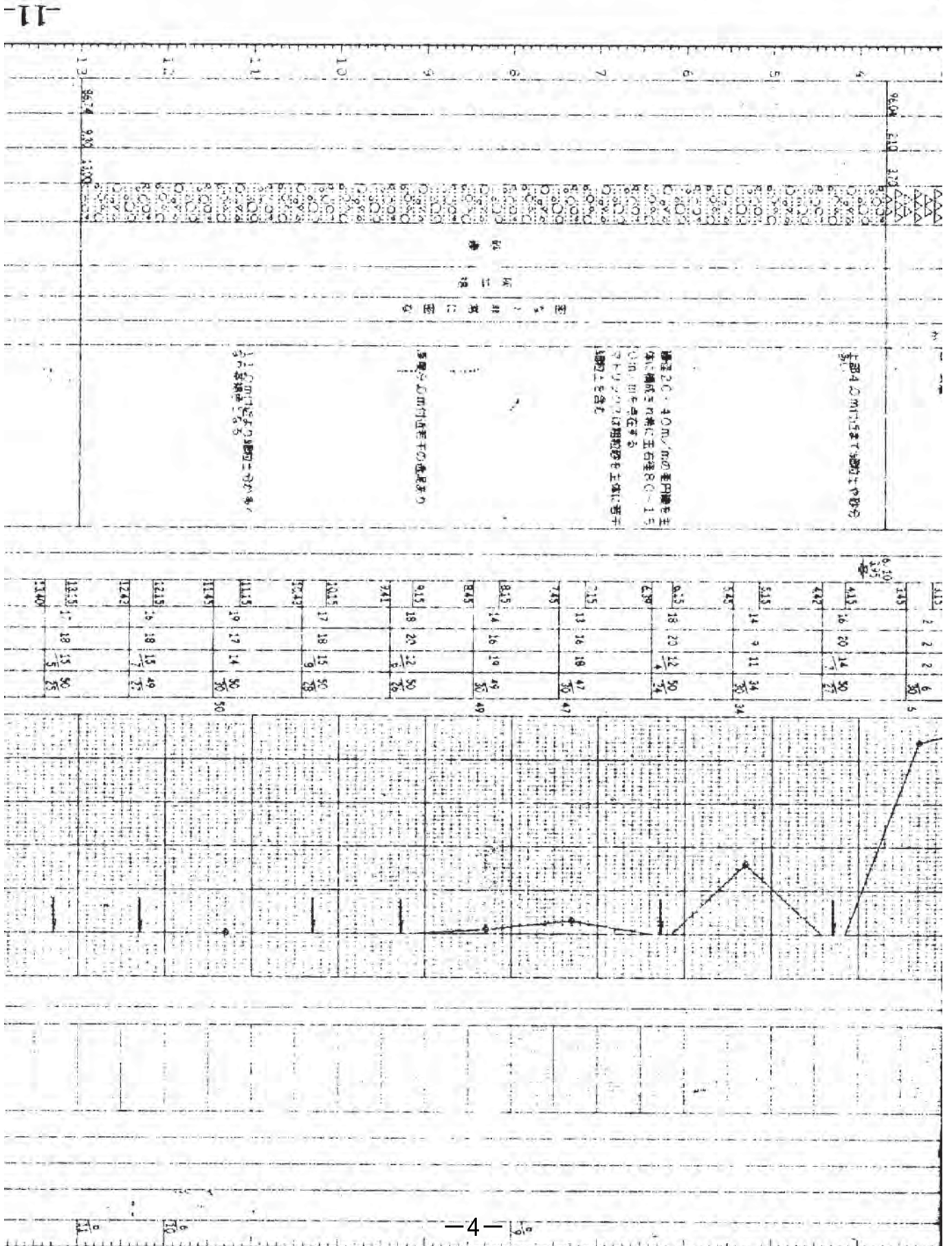








別紙4 本敷地周辺の土質調査結果  
( 部分 )



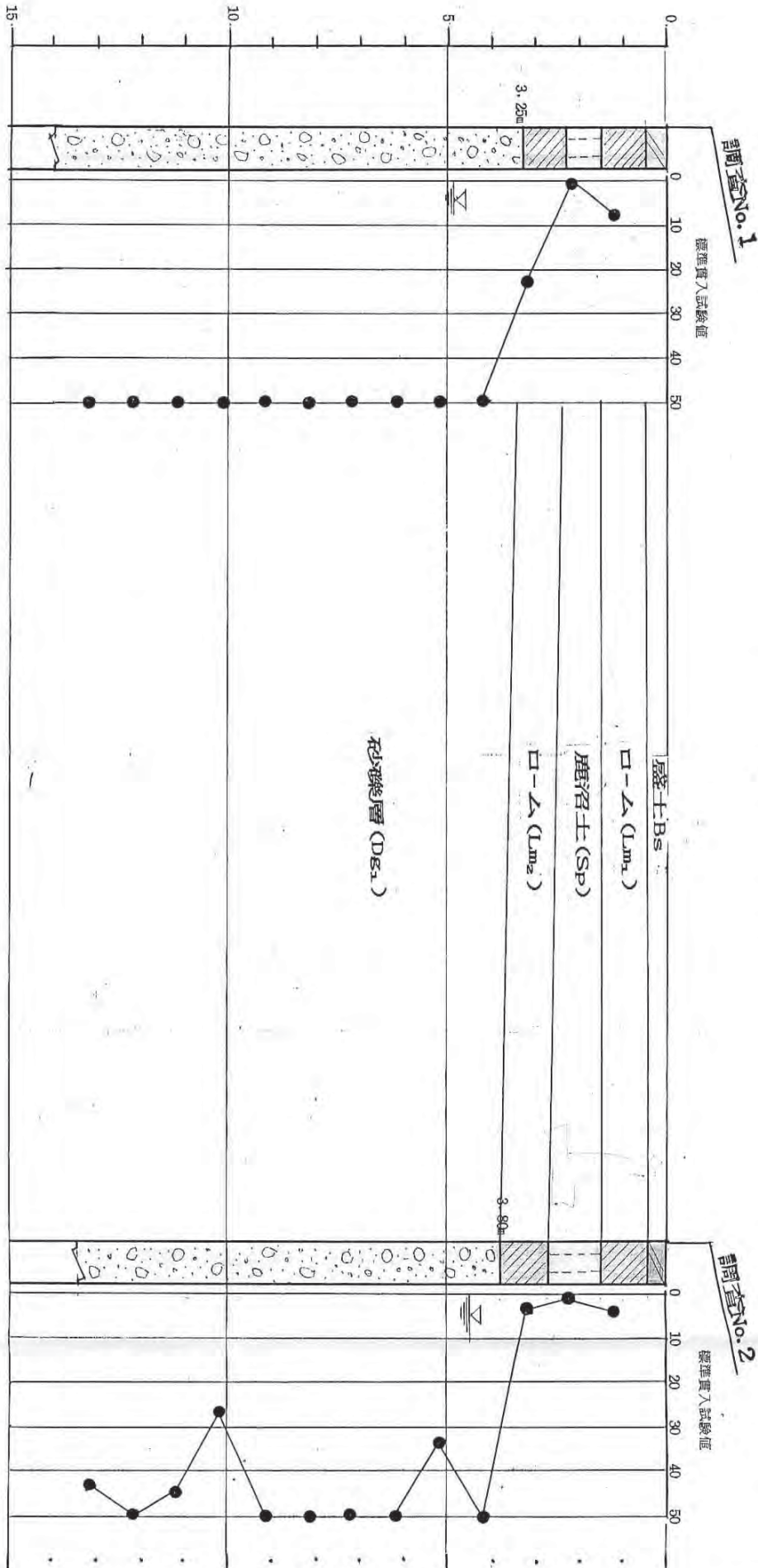








地質推定断面図





別紙4 本敷地周辺の土質調査結果  
( 部分)

土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

調 査 名 本部 宇都宮職員住宅新築に伴う地質調査委託

調査年月日 61 年 6 月 日

調 査 地 点 宇都宮市今宮4-342

標、高 \_\_\_\_\_ m

\_\_\_\_\_ 年 月 日

ボーリング孔: No.1

機種 \_\_\_\_\_

孔内水位(自然,泥)CL-4.90 m

調査責任者 岩 沢 広 明

標 尺 m	標 高 m	深 さ m	層 厚 m	観 察 記 録			標 準 貫 入 試 験					採取試料・原位置試験								
				土 質 記 号	土 質 名	色 調	記 事	深 さ m	打 撃 回 数 10 cm ご と の 打 撃 回 数	N 値			試 料 番 号	測 定 番 号	深 さ m	方 法 (注2)				
0		0.50	0.50	盛土	黒灰色	磁混り土砂														
1		1.50	1.00	ローム	黄褐色	若干粘土質, 軽石介入	1.15 1.45	7 30	2	2	3									
2		2.30	0.80	鹿沼土	黄褐色	含水あり, 粒径不均一	2.15 2.55	1 40	1	40										
3		3.25	0.95	ローム	茶褐色	粘土ローム, 下部砂質	3.15 3.45	23 30	3	10	10									
4				砂 礫	暗灰色	主体礫φ30mm~50mm 大礫φ80mm~100mm内外の 点在あり, 5m附近まで暗灰色。	4.15	50	43	7										
5									4.26	11	10	1								
6									5.15	50	22	28								
7									5.32	17	10	7								
8									6.15	50	20	25	5							
9									6.37	22	10	10	2							
10									7.15	50	50	50								
11									7.23	8	8									
12									8.15	50	20	30								
13									8.28	13	10	3								
14						9.15	50	19	19	12										
15						9.45	30													
16						10.15	50	20	21	9										
17						10.39	24	10	10	4										
18						11.15	50	19	28	3										
19						11.36	21	10	10	1										
20						12.15	50	22	28											
21						12.34	19	10	9											
22						13.15	50	12	25	13										
23						13.42	27	10	10	7										
24		13.42																		

備 考

注1) 試料採取方法の記号

注2) 原位置試験方法の記号

- T: シンウォールサンプラー
- F: フォイルサンプラー
- P: 標準貫入試験用サンプラー
- O: オーガー
- D: デニソン型サンプラー

別紙4 本敷地周辺の土質調査結果  
( 部分)

土 質 柱 状 図							報 告 用 紙												
調 査 名 本部 宇都宮職員住宅新築に伴う地質調査委託							調 査 年 月 日 6 1 年 6 月 日												
調 査 地 点 宇都宮市今宮4-342							標 高 _____ m _____ 年 _____ 月 _____ 日												
ボーリング孔: No. 2							機 種 _____ 孔内水位(自然,泥)GL-4.50 m 調査責任者 岩 沢 広 明												
標 尺 m	標 高 m	深 さ m	層 厚 m	観 察 記 録			標 準 貫 入 試 験					採取試料・原位置試験							
				土質記号	土質名	色 調	記 事	深 さ m	打撃 回数 10 cm 貫入量 kg/cm	10 cm ごと の 打 撃 回 数			N 値					試料 番号	測定 番号
0		0.30	0.30	盛土	黒灰色														
1		1.50	1.20	ローム	黄褐色	垂石粒混る。 若干粘土質を呈す。	1.15 1.45	4 30	1	1	2								
2		2.70	1.20	膨沼土	黄褐色	含水あり。	2.15 2.70	1 55	1										
3		3.80	1.10	ローム	黄褐色	粘土ローム	3.15 3.45	3 30	1	1	1								
4				砂 礫	暗灰色	主体礫φ20mm~50mm 4.7m附近φ200mm位の玉石 点在あり。	4.15 4.35	50 20	18	32									
5					暗褐色	6m附近より暗褐色。	5.15 5.45	34 30	10	11	13								
6							6.15 6.45	50 30	10	20	20								
7							7.15 7.43	50 28	17	18	15								
8							8.15 8.39	50 24	17	23	10								
9							9.15 9.36	50 21	20	25	5								
10							10.15 10.45	27 30	15	5	7								
11							11.15 11.45	45 30	12	18	15								
12							12.15 12.43	50 28	14	17	19								
13		13.45					13.15 13.45	43 30	15	14	14								

備考

注1) 試料採取方法の記号

T: シンウォールサンプラー F: フォイルサンプラー  
P: 標準貫入試験用サンプラー O: オーガー  
D: デニソン型サンプラー

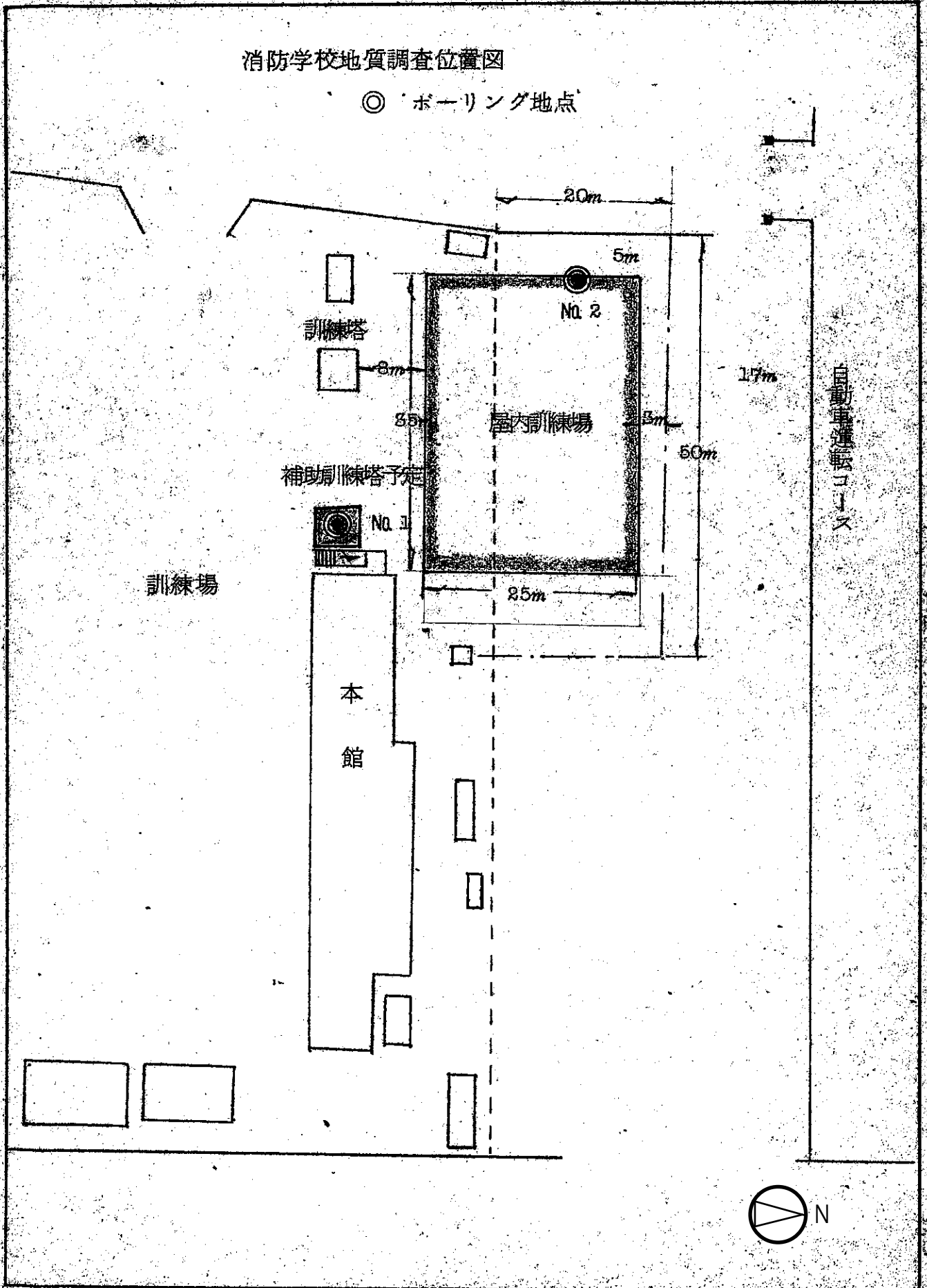
注2) 原位置試験方法の記号



No. \_\_\_\_\_

消防学校地質調査位置図

◎ ボーリング地点



ボーリング柱状図 (栃木県体育館分館部分)

調査名 消防学校敷地地質調査工事 孔番 No. No.1 地盤高 \_\_\_\_\_ m

調査場所 補助訓練場予定地 (基準面 \_\_\_\_\_)

地形 \_\_\_\_\_ 摘要 \_\_\_\_\_

調査期間 昭和51年5月 日 ~ 月 日

地下(孔内)水位 2.60m 調査担当者 \_\_\_\_\_

標地下水 高位 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料		原位置 試験深度 (m)	標準貫入試験 打撃回数							
					色調	相対密度		番号	記号		採取深度 (m)	0	10	20	30	40	50	60
	0			表土	暗灰色			1	1.1.10	1.15 1.47								
	1.05	1.05			茶褐色		有機物、腐植 物少量混る。	1	1.1.11	2.15 2.25								
	2.15	1.10		鹿沼土	黄褐色		含水あり。	2	1.1.12	3.15 3.45								
	3.25	1.10		粘土質	茶褐色		粘着性強い。	3	1.1.13	4.15 4.45								
	4.35	1.10						4	1.1.14	5.15 5.35								
	5.45	1.10			茶灰色		礫径φ=20% ~80%位の礫混 入多い。 所々φ=80% ~100%内外の 礫も混る。	5	1.1.15	6.15 6.45								
	6.55	1.10						6	1.1.16	7.15 7.35								
	8.05	1.50		砂礫			9m附近より 幾分粘土混る。	7	1.1.17	8.15 8.45								
	9.55	1.50						8	1.1.18	9.15 9.45								
	11.05	1.50						9	1.1.19	10.15 10.45								
	12.55	1.50						10	1.1.20	11.15 11.45								



ボーリング柱状図 (栃木県体育館分館部分)

調査名 消防学校敷地地質調査 孔番 No. NO. 2 地盤高 \_\_\_\_\_ m

調査場所 屋内訓練場了定地 (基準面 \_\_\_\_\_)

地 形 \_\_\_\_\_ 摘 要 \_\_\_\_\_

調査期間 昭和51年 6月 日 ~ 月 日

地下(孔内)水位 2.80 m 調査担当者 \_\_\_\_\_

標地下 水位 高(m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土 質 記 号	土 質	土 性		備 考	(註) 試 料		原 位 置 試 験 深 度 (m)	標 準 貫 入 試 験									
					色 調	相 対 密 度		番 号	記 号		採 取 深 度 (m)	打 撃 回 数	0	10	20	30	40	50	60	70
	0.00 0.40	0.40		表土	暗灰		上部コンクリート													
	1				茶褐色		有機物腐植物混る。	2	1	1.15 1.45	4									
	2	2.25 1.85		ローム				2	1	2.15 2.33	3									
▽	3	3.35 1.10		鹿沼土	黄褐		含水あり。	3	1	3.15 3.43	3									
	4	4.30 0.95		粘土ローム	茶褐		粘性あり。	4	1	4.25 4.55	30									
	5						5m附近泡礫 φ=20~30% 位混入多い。	5	1	5.15 5.45	41									
	6						以深φ=20% 50%位の混入 多い。	6	1	6.15 6.35	63 20									
	7				茶		所々φ=70% ~80%位の礫 も混る。	7	1	7.15 7.45	56									
	8				灰			7	1	8.15 8.45	50									
	9				色			8	1	9.15 9.45	61									
	10						10m附近より 幾分粘土混る。	8	1	10.15 10.45	51									
	11							9	1	11.15 11.45	37									
	12							10	1	12.15 12.45	53									
	13	13.30		砂礫				10	1	13.15 13.30	50 15									





# 別紙4 本敷地周辺の土質調査結果 ( 栃木県体育館分館部分 )

## ボーリング柱状図

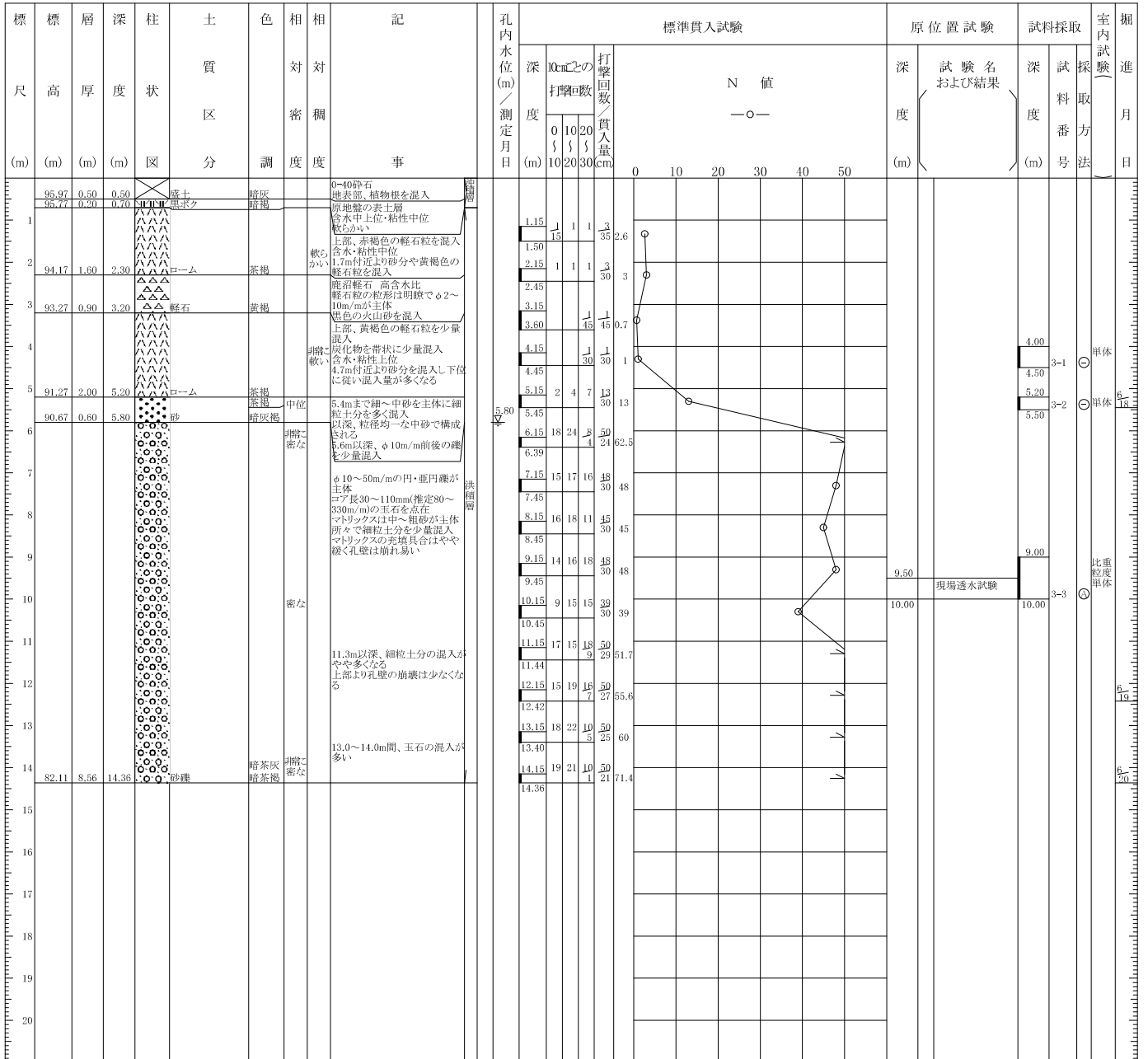
調査名 公共下水道地質調査業務委託 第1号

ボーリングNo. 5 4 3 9 6 6 1 9 0 0 3

事業・工事名 \_\_\_\_\_

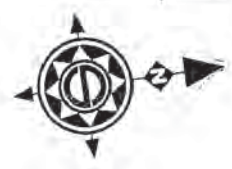
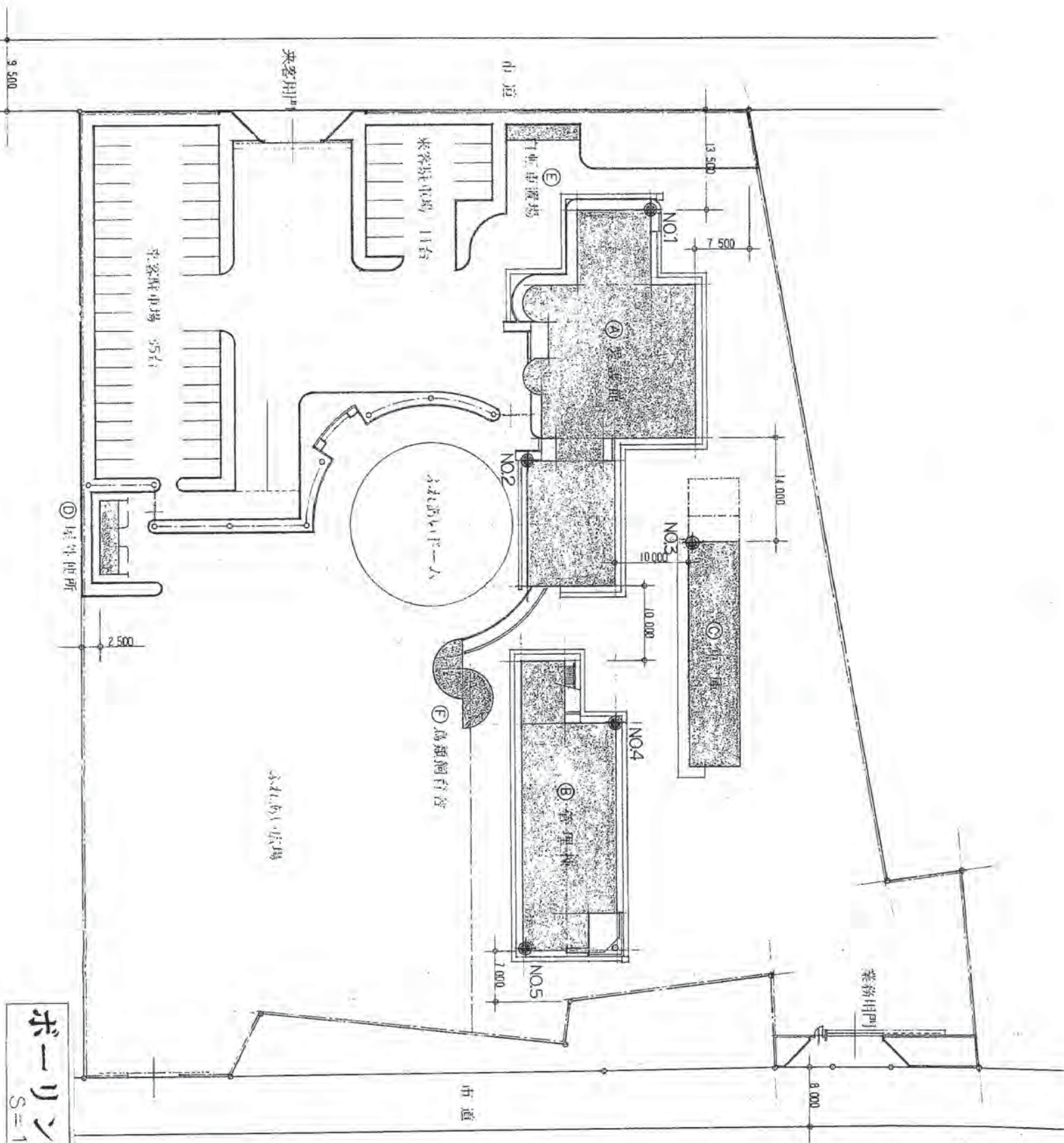
シートNo. \_\_\_\_\_

ボーリング名	B-3			調査位置	宇都宮市今宮2丁目・今宮4丁目 市道408号			北緯	36°30'37.55"			
発注機関	宇都宮市上下水道局 下水道建設課 建設改良グループ			調査期間	平成27年6月18日～平成27年6月22日			東経	139°52'4.36"			
調査業者名	株式会社中央土木工学研究所 028-648-3319			主任技師	古澤 裕			現場代理人	渡辺 英樹		ボーリング責任者	太田 正夫
孔口標高	96.47m	角	180° 上 0° 下	方	270° 北 0° 西 180° 東	地盤勾配	0° 鉛直	使用機種	試験機 扶桑工業 KR-SH-2		ハンマー落下用具 半自動落下式	
総掘進長	14.36m	度	0°	向	西	東	北	エンジン	ヤンマー TF70V-E		ポンプ	カノ V5-P



株式会社中央土木工学研究所

別紙4 本敷地周辺の土質調査結果  
 ( 動物愛護指導センター部分 )



ボーリング穴配置図  
 S=1:500



















